

OKI と静岡市、「海洋関連技術の革新及び社会実装の推進に関する連携協定」を締結 国内初となる実海域テストベッド実現を推進

沖電気工業株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:森 孝廣 以下、OKI)と静岡市(市長:難波 喬司)は、2026年7月31日に、海洋関連技術の革新及び社会実装の推進に関する連携協定を締結しました。両者は、海洋技術開発に不可欠な実海域テストベッド(注1)の国内初の実現をはじめ、海洋技術の社会実装や人材育成、情報発信などについて、官民双方の強みを持ち寄り連携し、今後、重要な成長分野となる「海洋」の技術開発および社会実装・産業化に幅広く、積極的に取り組んでいきます。



静岡市 難波市長(左)OKI 加藤センター長(右)

1. OKIと静岡市について

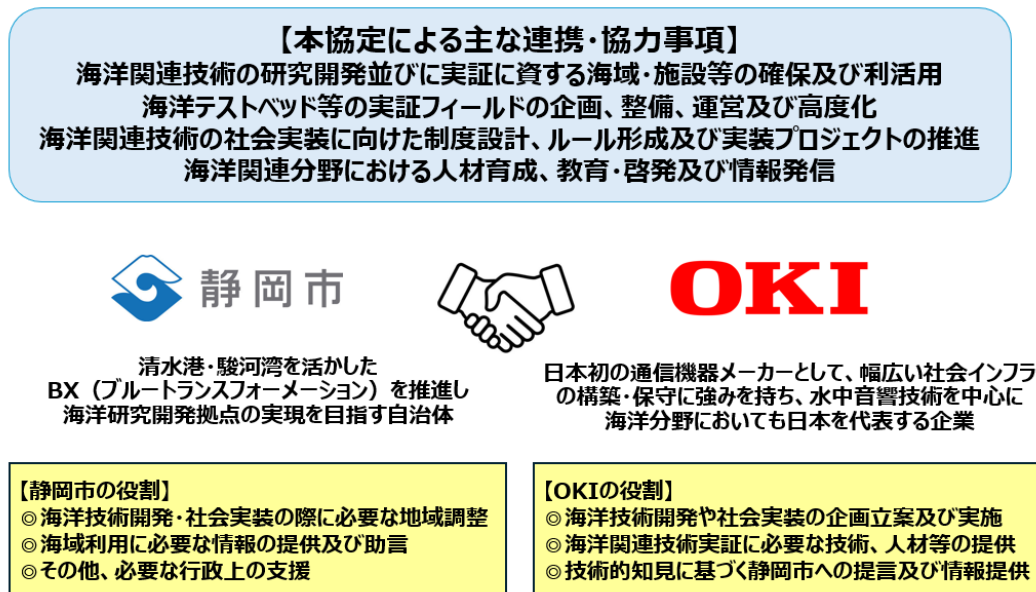
OKIは、140年以上にわたる歴史の中で、社会インフラを支えるメーカーとして、確かな技術と信頼を積み重ねてきました。中でも海洋分野では、防衛市場で培った水中音響技術を活かし、水中音響測位装置や水中音響センサーなどの製品開発を進めています。また、静岡県沼津市の内浦湾には、国内唯一の水中音響計測施設である固定式計測バージ『SEATEC NEO』を保有しており、センサーやROV(遠隔操作型無人潜水機)、AUV(自律型無人潜水機)など、さまざまな海中用機器の試験・実証が可能です。こうした取り組みを通じて、OKIは海洋産業の発展に貢献しています。

OKIは、沼津市に防衛・海洋関連分野向けの開発・製造拠点をもち、駿河湾を活かした海洋技術革新と社会実装は、両者にとって重要な共通テーマであることから、対話を重ね、今回の協定締結に至りました。

静岡市は、清水港、駿河湾という恵まれた海洋環境を活かし、BX(ブルートランスフォーメーション=海洋分野の社会変革、技術革新)の推進に力を入れています。海洋データを活かし研究開発・産業化・人材育成を行う「駿河湾・海洋DX先端拠点化計画(内閣府地方大学・地域産業創生交付金活用)」や、清水港沖、折戸湾での海洋テストベッドや、三保飛行場を活かした空のテストベッドの整備・充実を図る「駿河湾・BXテストベッド構築事業(内閣府地域未来交付金活用)」などを進め、駿河湾に面した清水港を中心に、国際的な研究開発拠点化を地域づくりとして進めています。

2. 連携協定の概要

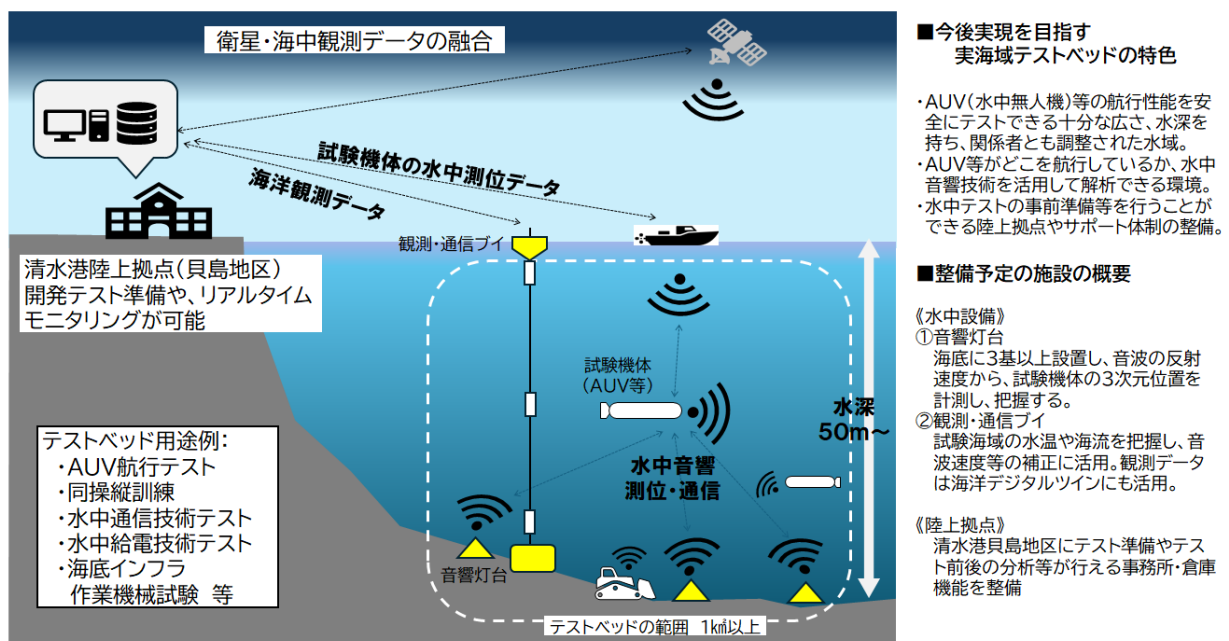
OKIと静岡市が締結した連携協定の概要は以下の図の通りです。



3. 今後の連携について

協定に基づき、OKIと静岡市は、海洋分野を中心に幅広く連携を図っていきます。特に重点的に取り組むのが、静岡市が進める「駿河湾・BXテストベッド構築」プロジェクトです。本プロジェクトは、駿河湾や清水港を活かし、企業や研究機関に海洋先端技術のテスト環境を提供することを目的としています。本プロジェクトの実現に向けて、OKIは水中音響技術や既存の海洋実験施設の運営ノウハウを活かして貢献します。両者はそれぞれの強みを活用し、新たな地域経済創出と先端技術の事業化の実現を目指します。

国内初となる実海域で水中測位・通信が可能な 駿河湾テストベッドの清水港沖での実現



⇒AUVや海底作業機器、関連するセンサー、通信、給電等の技術開発・投資が加速

⇒まず1カ所具体化し、船舶や水産業とも共存しながら、将来的に駿河湾全体をテストベッドの視野に（海のデジタル化実現により、テストのためだけでなく、海の利用や保全も進化）

【用語解説】

注1:実海域テストベッド

実際の海の環境を使って、AUV(水中無人機)等の機器・システム・技術を試験・検証するための場のこと。実際の波・潮流・水圧などの影響を含めて評価が可能です。

4. 問い合わせ先

(本ニュースリリースの内容についての問い合わせ先)

静岡市 経済局 海洋政策部 BX推進課 担当:山本、今川、瀧

TEL:054-354-2656 E-mail:bx-suishin[*]city.shizuoka.lg.jp

E-mailは上記アドレスの[*]を@に変えて使用してください。

--- 報道機関からのお問い合わせ先 ---

OKI 経営管理部 広報・プロモーション室 担当:鈴木 [お問い合わせフォーム](#)

(<https://contact.oki.com/n/form/c/v1/usmb/forms/nuTL54xaK56KRvwRRSCzc>)

--- お客様からのお問い合わせ先 ---

OKI グローバルマーケティングセンター 海洋事業開発部 [お問い合わせフォーム](#)

(<https://www.oki.com/cgi-bin/inquiryForm.cgi?p=213j>)